

広報 おおの



大野ええとこ

平家平のブナ林

	ページ
水調査隊新堀川をたどる ...	2 ~ 7
地域情報化計画を策定.....	8
健康通信.....	9
市民のページ.....	10 ~ 11
お知らせ.....	14 ~ 15

平成14年(2002年)

6月号

681

古紙配合率100%再生紙を使用しています

さあ、出発!

水調査隊 新堀川をたどる

久保拓人くん

安間智之くん

広瀬千夏さん

山口あきほさん

6月は環境月間

西部児童センター横、看板前

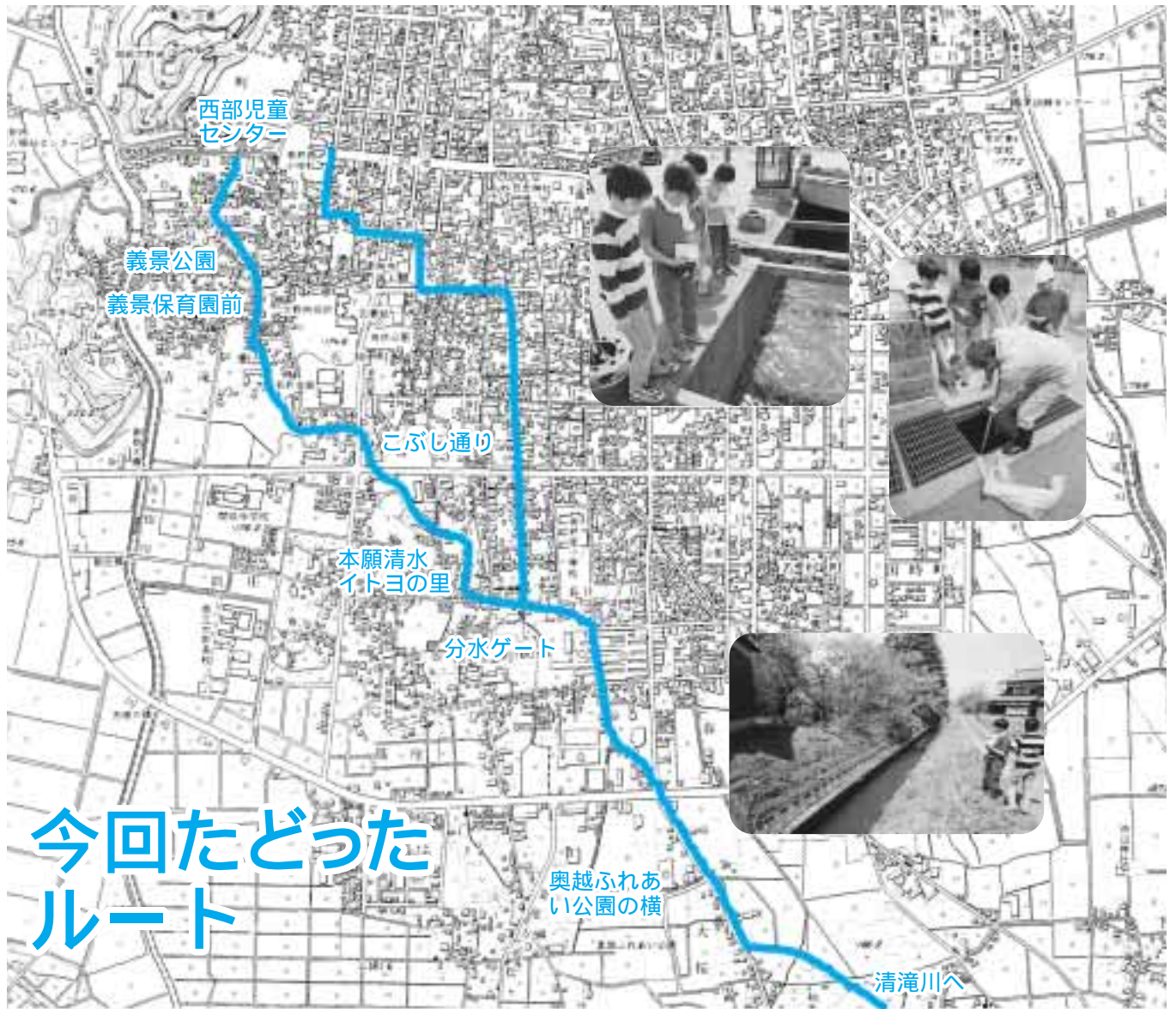


義景公園の横を
流れる新堀川

皆さんは、有終西小学校の五年生が昨年（四年生）の総合的な学習で「水調査隊」として大野の水について学習したことをきっかけに立てた、西部児童センター横にある看板をご存じですか。今回は六月の環境月間にちなんで、一緒に区内を流れる新堀川をたどってみました。



義景保育園前の分
水ゲートに到着



今回たどった ルート



こぶし通り沿いの駐
車場。意外なところ
につながりびっくり



分水ゲートの内側に掛か
るごみ発見！川を案内し
てくれた職員により回収
作業が行われました



本願清水イトヨの里の後
ろにある公園に到着。川
を見ながらひと休み



発泡スチロールやコンビニ
の袋など、回収したごみの
多さに驚く水調査隊





春田二丁目の分水ゲート。鉄さくりに掛かるこ



奥越ふれあい公園近く（大桜）の道路沿いを流れる水路。意外なところに川が繋がってびっくり



用水へつながった！（篠座）



用水から田んぼに分岐するところ、水と食とのつながりをあらためて実感



流れがぶつかるところに漂つペットボトルや食品トレーなど...



下をのぞくと...



下据の用水が交わるところ。川と川がつながる様子がよく分かります



四月から十月までの間に四回、新堀川の清掃を行っています。自分たちの周りには自分たちできれいにしよう、もう四十年近く続けています。以前と比べ空き缶などは減ったように思いますが、相変わらずいるんなごみが流れてきますよ。まず川にごみを捨てないということが一番大切だと思えます。今後もこのような活動を通して、地域でいっまでもきれいな川にしていきたいですね。



谷口義和さん
泉町二区

清掃通し水の大切さを

ひとまず終点、清滝川に到着！



西部児童センターからい
ろんな川や用水をたどつ
て、ひとまず終点となる
清滝川に到着。取水ゲー
トを見ながらこれまでの
足跡をふりかえりました



下庄公民館前の用水分岐点



ほけ
木瓜川（エキサイト広場付近）



新堀川をたどるうち、たくさんのごみが
あることに驚いた水調査隊。今度はほかの
川や水路などをチェックしました。



ここでもさくに掛かる
ビニールなどを発見。
回収作業に見入る水調
査隊



さくに掛かっていた植木鉢にびっくり！

市内のポイントをキョウク



えんばし
縁橋川 分水ゲート

みんなで回収作業のお手伝い、そうれっ！



善導寺川 分水ゲート



このような場所では、川に入ってゴミの回収作業を行っています



川や水路にたくさんのごみ
が流れていたことに、とても
驚きました。いくら川をきれ
いにしようともゴミを拾ったり
掃除をしたりする人がいても、

新堀川をたどっていくと清
滝川につながることを知り、
とても驚きました。
分水ゲート（春日二丁目）
から西校まで、鉄のふたがし
てある水路を見て歩いたとき
に、ハクサイやダイコンなど
が途中で掛かっていて、とて
もびっくりしました。鉄のふ
たがしてあるのに、どうして
こんなに大きなものが流れて
いるの不思議でした。だれ
かがふたを開けて、ゴミを捨
てたのかなと思いました。

ゴミのポイ捨て
絶対しません！

子どもたちの感想から

学校のまわりも徹底チェック!

春日二丁目の分水ゲートから有終西小学校までの水路は、ほとんどが網目状の鉄のふたなどで覆われています。そこで実際にふたを開け、普段目に付かないところまでチェックしてみました。



四番通り



かえで通り

普段見えないところから
たくさんのごみを発見!



二番通り



学校前ではダイコンが!



三番通りで大きいビニール袋を発見

住んでいる人や来た人がごみを捨てたのでは、いつべんに川が汚くなります。ごみのポイ捨ては絶対にやめようと思いました。これからは、ごみを捨てている人を見かけたら注意しようと思いました。

この日一日で、たくさんのごみを回収しました。枯れ草や枯れ枝など自然に水路に落ちたと考えられるもののほかに、空き缶や空き瓶、紙パック、スーパースーパーやコンビニのビニール袋などに詰められた弁当の空容器、ダイコンやハクサイなどの漬け物に植木鉢など、故意に捨てたと思われるものも多くありました。

「少しぐらい…」という軽い気持ちや「自分の目の前からごみが無くなれば…」という心ない考え方が、下流をはじめたくさんの人たちに迷惑をかけることにつながります。まず「自分が出したごみは『ごみステーション』へきちんと出す」という基本的なルールを正しく守りましょう。今月は環境月間、この機会に一人ひとりが出来ることから始めてみませんか。

DV抱え込まずに相談を

DV(ドメスティックバイオレンス)とは、夫婦や恋人などの間において、主に男性から女性に加えられる暴力のことです。近年ますます深刻化する、配偶者(特に夫)などから女性への暴力に歯止めをかけることを目的として、昨年「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(いわゆるDV法)が施行されました。

殴る・ける以外も暴力

暴力は「殴る・ける」など身体的暴力だけではなく

「話し掛けても無視する」など心を傷つける精神的暴力や「生活費を渡さない」などの経済的暴力、また「交友関係の監視・外出を制限」など社会から孤立させる社会的暴力や性的暴力のほか子どもを巻き添えにした暴力など、女性を傷つけるものすべてが暴力なのです。

このような配偶者からの暴力は家庭内で行われることが多く、外部からの発見が難しいほか、被害者が報復を恐れたり家庭の事情に配慮したりすることから、一人で抱え込

み、悩み苦しむ場合が多く見られるようです。

市では福祉事務所が、DVに関する相談窓口となっております。相談は県総合福祉相談所と連携をとりながら、被害者の人権を十分に尊重し行っています。

県総合福祉相談所では被害者の一時的な保護のほか相談や関係機関の紹介、医学的・心理的なカウンセリングや自立生活支援のための情報提供などを行っています。奥越健康福祉センターでも女性相談員が相談を行っています。一人で悩み苦しまないで、まずはご相談ください。

主な相談窓口

県総合福祉相談所	
福井市光陽2	3 36 (☎)
0776・24・6261)	
県奥越健康福祉センター	
大野市天神町1	1 (☎) 66
・2076)	
大野市福祉事務所	
大野市天神町1	1 (☎) 66
・1111)	
警察本部レイディーステレホン	
福井市大手3	17 1 (☎)
0776・29・2110)	



ISO14001を認証取得 大野市環境マネジメントシステム

市の事務事業を行うにあたり、市が自ら定めた環境方針のもと、環境保全活動を計画的、継続的に推進する大野市環境マネジメントシステムが、国際標準規格であるISO14001に認証登録されました(4月25日審査登録機関より連絡)。

適用範囲は市役所本庁舎、クリーンセンター、浄化センター、保健センターおよび公民館の各所属における事務事業です。今後、この環境マネジメントシステムを運用し継続的な環境保全活動に取り組んでいきます。

地域情報化計画を策定

今、世界中がIT(情報通信技術)革命により、さまざまな変化を遂げています。

その変化は急速な技術進歩を背景に、産業・社会・経済・生活などあらゆる分野に広がり、社会経済発展の活力源として役割と期待が高まっています。

また、少子・高齢化の進展や地方分権の推進、地域経済活性化や環境問題への対応など、社会情勢も激しく変動しています。

このような状況の中、市民が産業・経済をはじめとする生活全般で情報化の恩恵を受けられるよう、着実に地域の情報化を推進していくことが重要となっております。

地域情報化計画は、高度情報化社会に対応し、行政のあらゆる分野で市民サービスの向上や事務の効率化を図り、地域全体の市民生活を向上させる手段として、情報化施策の方針を定めたものです。

総合計画を情報化で

地域情報化計画の施策は、市の総合計画にかかげる各種まちづくりの目標を実現して

いくための手段として位置付けられるものです。そのため計画の基本理念を

「情報化で、力強く、やさしく、美しい大野を」

としました。そしてこの基本理念を実現するため「情報ネットワークシステムなどによる市民サービスの向上」「行政の情報化・電子化による事務の効率化・高度化の推進」「地域情報通信基盤の整備」を計画全体のキーワードとし、次の基本目標を設定しました。

- ・情報化で育てる創造性と活力ある産業
- ・情報化で育む思いやりと豊かな心
- ・情報化で創る環境保全と美しい景観
- ・情報化で進める人が集い心が響き合う交流
- ・情報化で築く住みよい環境

今後、急激な社会の変化に対応するため、おおむね三年をめどに計画の見直しを行いながら、地域の情報化に取り組んでいきます。

健康ランチバイキング



3月に保健センターで健康ランチバイキングが行われました。これは「一日に何をどれだけ食べたら良いか」をみて見て、選んで、知ってもらおうと大野市食生活改善推進員・若葉会が開いたものです。今回はその内容や当日行ったアンケートの一部を紹介します。

楽しみながらチェック

用意された料理から、自分が選んで食べたものについてカロリーなどをチェックする健康ランチバイキング。日ごろの食生活を見直すきっかけにもなると、若葉会が開いているものです。

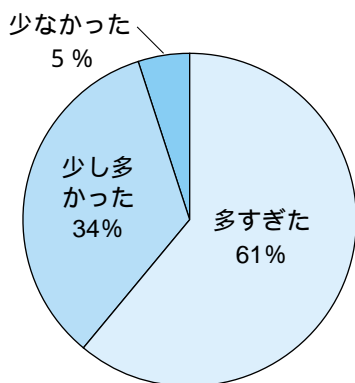
最初に、一日に必要なカロリーや、塩分を減らす工夫の説明、自宅でできる軽い運動の紹介などが行われた後、自分に見合った量やメニューを考えながら料理を選んで食事を行いました。その後、若葉会のメンバーからアドバイスを受けながら、実際に食べた料理に

ついてカロリーや塩分のチェックを行いました。

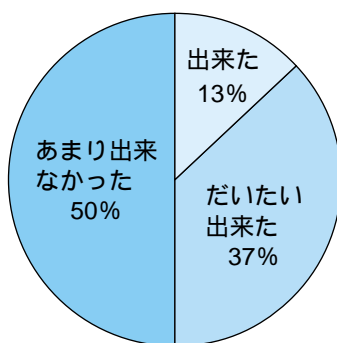
参加者の感想など

- ・健康を考えて食事を取るという考え方が無かったのとても勉強になった。毎日の食生活を見直す良い機会でした
 - ・普段からカロリーや塩分のことを考えて食事をしているつもりだったが、実際に計算してみると知らない間にずいぶん取り過ぎていたと分かった
 - ・最近、体重が増える傾向にあったがカロリー計算をしたら増えて当然だと分かった
 - ・一日三回の食事は一年で千回以上にもなる。その食にもっと関心を持ってもらうため男性や子ども、高齢者などいろんな人に参加して欲しいと思った。また子どもを対象に、このようなイベントを行うのも良いと思った
- 食や健康に興味のある人。このようなイベントへの参加を、ぜひお待ちしております。

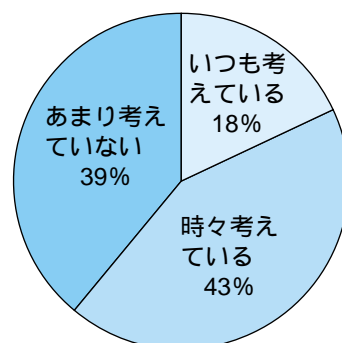
ランチバイキングで食べたエネルギー(kcal)は目標と比べて多かったですか 少なかったですか



ランチバイキングの食事はバランス良く選べましたか



自分の健康や病気の予防を目的に「1食、または1日に何をどれだけ食べたら良いか」を考えて食事をしていますか



皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター (☎65・7333)

ぐるーぷ登場

大野市ソフトテニス協会

ソフトテニスは、明治時代に日本で考案されたスポーツです。長い間「軟式テニス」と呼ばれていましたが、世界選手権が開かれるなど国際的に普及したことから、現在は「ソフトテニス」という競技名が使われています。

大野市ソフトテニス協会は、昭和三十年代に発足しました。現在の会員は、三十二人。二十歳代から七十歳代までの幅広い年齢層の人たちが、一緒に汗を流しています。

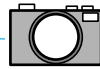
活動は、毎週土曜日の午後七時から明治公園で行う練習のほか、各種大会への出場や他市チームとの親善試合などを行っています。

「ボールが柔らかいため、軽いラケットを使います。ラケットが振りやすいので小学生など小さな子どもでも気軽に

楽しむことができます。また上達してくると、ボールに変化を加えるなど、テクニクを磨く楽しみもあるんですよ」と事務局の仲井太さん。

今年からジュニア選手の手育成に力を入れようと、小・中学生を対象とした講習会を予定しているほか、四月からは高校生のソフトテニス経験者に呼びかけて、一緒に練習を始めたそうです。

「若い人と一緒にプレーするように、これまで以上に活気が出ましたね。ソフトテニスは初心者、経験者を問わず、みんなで楽しめるスポーツ。講習会などを通じて、もっ



今月のスナップ



篠座神社の獅子神楽

世代を超えて楽しくプレー

とたくさんの人に楽しさを知ってもらいたいですね」と會長の河合英雄さん。興味のある人は、事務局の仲井さん（☎66・0722）まで。

「広報おおの」では、皆さんの活動や意見など、さまざまな内容を募集しています。あなたも紙面に参加しませんか。

〒912-8666 大野市天神町1-1 市役所秘書広報課広報広聴係（☎66・1111 内線440）
yamabiko@city.ono.fukui.jp

ちょっとおしえて

ごみ？ゴミ？ 古紙の回収

今回は、古紙の集団回収に対する補助制度について紹介します。

平成十三年度に、市内で回収されリサイクルされた古紙の量は約二千ト。しかし同年の燃やせるごみの中にもまだまだリサイクルできそうな紙類がたくさん含まれているという状況でした。

市では、このような限りある資源を有効にリサイクルするために、平成三年から古紙の集団回収を行う団体に対し、補助を行っています。

この制度では、古紙一キ〇当たり八円（十円未満の端数が生じた場合は切り捨て）の補助金を出しています。

対象となるのは、市民で構成している営利を目的としない団体です。

平成十三年度では、のべ八十六団体が回収した約五百五十トの古紙に対し、約四百四十万円の補助を行いました。

登録を忘れずに補助を受けるには、毎年「資源ごみ回収実施団体」の登録が必要になります。所定の用紙に、団体の概要や年間実施計画を記入して、生活環境課へ提出してください。

なお、補助の対象となる古紙は次の三種類です。

- ・ 段ボール
- ・ 新聞紙
- ・ その他の紙（雑誌、ノート、チラシ、本、ボール紙、菓子箱、封筒、名刺など）

1 新聞

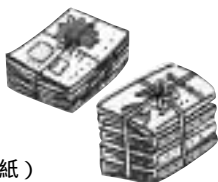


2 段ボール



3 その他の紙

- ・ 雑誌
- ・ 包装紙
- ・ 折り込みの広告
- ・ 菓子箱（ボール紙）



回収業者へ古紙を出すときは、三種類にきちんと分別しほかの紙と混ざらないようしっかりと縛ってください。

限りある資源を有効にリサイクルするため、古紙の回収にご協力ください。

問い合わせ先 生活環境課環境係全係（☎66・1111 内線463）

よんでみねの 図書館の本



『山小屋』

面屋昌樹著 新風舎刊

今回は、昨年の秋に出版された大野市出身の作家の本です。

一人で山小屋に住み、絵をかいている男性と、少年との出会いを書いた作品です。

「男」との交流を通して中学二年生の「僕」が、少しずつ人間的に成長していく姿が描かれています。

この二人の何気ない会話から、著者の考える幸福とは何かが伝わってくるような本です。

こんにちは

茜町の武井藍さんは、三月に新潟県で開かれた北信越ベンチプレス選手権大会の女子五十六歳級に出場し、サブ・ジュニア（十四歳）十八歳以下）の日本記録を更新して優勝しました。

今回出した八十七・五歳は、これまでの記録を十歳近くも



ベンチプレスでサブ・ジュニア日本新

武井 藍さん（高校二年生・茜町）

更新し、ジュニア（十八歳）二十三歳以下）の日本記録をも上回っています。

ベンチプレスは、バーベルを持ち上げるパワーリフティング競技の一種目で、あおむけに寝た状態で行います。腕力はもろろんのこと、瞬発力や集中力などが要求されるほか、微妙な体のバランスや呼吸法など、ありとあらゆる要素が求められます。

「今回の結果は、家族やクラブの仲間など多くの人に支えられたおかげです。特に大会が近づくとつれ、積極的に練習に協力してくれたクラブのみんなには、本当に感謝しています」

武井さんは、幼いころから

続けている空手のウエイトトレーニングとしてベンチプレスを始めました。練習を積むうちにすっかり夢中になり、二年前から本格的に競技を始めたそうです。

練習は、月曜日と土曜日の午後七時から十時近くまで、自宅横にある練習場で行っています。父親で世界選手権三位の実績を持つ康弘さんがコーチにあたり、厳しく指導を行っています。

「当面の目標は、夏に出場する全日本大会で百歳を持ち上げて優勝すること。そして近い将来、世界選手権で父よりも上位に入賞することが夢です」と目を輝かせながら話してくれました。

おのおのつこりぽーと!!

「それ行け！
本願清水探検隊」
有終南小学校 4年生



有終南小学校の四年生が昨年（三年生のとき）、イトヨについてさまざまな学習を行いました。

子どもたちが、イトヨについて調べようと思ったのは、昨年の十月のこと。初めて行った「本願清水イトヨの里」で、職員から説明を受けているうちに、もっとイトヨのことを知りたいと思うようになりしました。そこで、興味を持ったことや不思議に思ったことを一人ひとりが調べ、発表し合うことにしました。

できる限り自分の目で見ても調べようと、イトヨの里を訪れ、まずじっくりと観察。イトヨが住みやすい環境を調べるために本願清水の水温を測ったり、エサになる水性昆虫を調べるため池の中の石をめくったりしました。なかには授業だけでは時間が足りず、放課後に調べに行く子どもも。調べた内容は冊子にまとめ、お互いに教え合いました。

また、より多くの人にイトヨのことを知ってもらおうと発表会を企画。全校児童をはじめ、保護者やイトヨの里の職員を体育館に招き、菓子の作り方や泳ぎ方などの特徴を分かりやすく紹介した劇や、イトヨをテーマにして作った歌を披露しました。

今年、イトヨが住む水について調べようと、みんな張り切っています。



2月に行った発表会の様子



市町村合併に意見交換

市町村合併について広く意見交換などを行う、市町村合併懇話会が4月30日に設置されました。この懇話会は商工業や区長会など各種団体の代表と、公募からなる16人で構成されています。第1回目となるこの日は、会長に大野商工会議所総務委員長の稲山幹夫氏を選出。合併特例法や県が示している合併パターンに関する研究報告書の説明を受けた後、意見交換を行いました。今後、秋ごろまで数回にわたり、市町村合併について論議を深めていきます。

天体観測まかせて

4月19日、南六呂師にある県自然保護センターで天文リーダ・養成講座が行われました。これは天体観測の基礎知識や望遠鏡の使い方などを学び、指導者として活躍する人を育成しようというものです。参加した約20人は、星の動きや星座の名前、望遠鏡のしくみなどを熱心に勉強していました。



七間通りに「工房もっこ」

大野手技グループ「もっこ」の会が七間通りの空き店舗を活用し、新しい活動拠点として「手作り工房もっこ」を5月3日にオープンしました。工房では、会員が、交代で技の実演を行うほか、市民や会員による手作りの作品などを展示。また、観光客や市民を対象とした技の講習会なども行うそうです。毎週日曜日の午前8時から午後1時まで開いています。



四季の山野草を実習

4月11日から「五箇の自然講座」が始まりました。これは五箇公民館とその周辺に自生している山野草を、講義をはじめ山歩きなどの現地実習を交えながら学ぼうというものです。初日のこの日は約20人が参加し、スライドや山野草の実物標本を使った説明に熱心に耳を傾けていました。来年3月まで9回にわたり、山菜や木の実、身近にある薬草などについて学んでいきます。

話題の広場

話題の広場

山の幸満載

毎年恒例の七間朝市山菜フードピアが5月11・12日に開かれました。ワラビやウド、タケノコなど新鮮な山菜がところ狭しと並んだ朝市のほか、山菜クイズコーナーや山菜朝市茶屋など盛りだくさんの内容に、大勢の買い物客らでにぎわいました。



目で見て触れて植物観察

5月12日、亀山にある木や草花などを学ぼうと自然観察会が行われました。参加した約30人は、亀山に自生している北方系や南方系、帰化植物などさまざまな植物について、専門家の説明を受けながら、じっくりと観察していました。

武家屋敷を一般に公開

県内で唯一残る武家屋敷とされる田村家住宅（城町）が4月27日～5月6日、初めて一般公開されました。古文書によると住宅は、文政（江戸時代）10年の火災後に建てられたものだそうで、一部の増改築を除き、大部分が当時の面影をそのまま残しています。現在もここに住む田村さんが、貴重な武家屋敷の存在を知ってもらおうと実施。屋敷内では代々伝わる甲冑や馬具、掛け軸などの展示も行われ、期間中大勢の人が見学に訪れていました。



「森の巨人」保全に向け

桃木峠の大杉保全協議会の設立総会が5月17日、スターランドさかだにて開かれました。この協議会は、平成12年に「桃木峠の大杉」が林野庁の「森の巨人たち百選」に選ばれたことをきっかけに設立。今後、現地視察や標識の設置、歩道の整備など自主的な保全活動を行う予定です。



身近な話題をお知らせください。

お知らせ 6月



届出が必要です 建物の新築や売買など

税務課

固定資産税は、毎年一月一日現在に所有している土地・家屋・償却資産について課税されます（課税の基準日）。
建物を取り壊したり、新築・売買・贈与などをして未登記の場合は、必ず届けてください。

屋根融雪装置 設置に補助金

都市整備課

市では、雪に強いまちづくりを進めるため、自らが居住する既存の木造住宅に、県が認定した屋根融雪装置を設置

届け出がない場合、継続して課税されたり、何年分もさかのぼって課税されたりしますのでご注意ください。
届け出・問い合わせ先 税務課
課資産税係（☎66・1111
1内線425）

する人へ補助金を交付します。

対象となるのは、人口が集中している地区内の世帯、または65歳以上の高齢者のみ世帯などの条件があります。詳しい条件などについては問い合わせください。
補助金額 設置費用の3分の1（限度額60万円）
補助件数 8件
募集期間 6月3日（金）～25日

（☎）（先着順）
問い合わせ先 都市整備課住宅緑地係（☎66・11111内線353）

健康メイト講習会

保健センター

日時・内容 6月19日（水）・血圧と健康の関係 7月10日（水）・減塩してまずか？ 7月24日（水）・食のバランスチェック 8月7日（水）・ねたきり危険度チェック 8月28日（水）・健康とは？
いずれも午後1時30分～3時30分
場所 保健センター

加入で年金上積み

国民年金基金

国民年金基金に加入すると、自営業の人などが加入している国民年金に上乘せされた年金保障が受けられます。
加入は口数制で老後の生活設計に合わせ年金額や給付の型を選択できる柔軟な制度となっています。加入時の年齢によって掛け金の額が変わりますから若いうちに加入するほうが負担も少なくなります。

掛け金は全額社会保険料控除の対象となり、所得税、住民税が軽減されます。
対象者 20歳以上60歳未満の第1号被保険者で、自営業農林漁業、学生、無職の人
問い合わせ先 国民年金基金（☎0120・40・43355）

特別永住者などへの 弔慰金・見舞金の支給

福祉課

特別永住者として日本に住んでいる旧軍人軍属などであった皆さんに弔慰金・見舞金

介護保険運営協議会の委員など募集

市では、広く介護保険についての意見を集め、制度の運営を検討する介護保険運営委員（老人保健福祉計画策定委員を兼務）を募集します。

募集人員 3人
審議内容 介護保険事業運営および高齢者福祉に関すること（今年度は介護保険事業計画と老人保健福祉計画の見直しを予定）

応募資格 市内に1年以上住む40歳以上の介護保険被保険者
任期 委嘱日から2年
応募方法 介護保険または老人福祉に関する作文を、1200字以内にまとめ、住所、氏名、電話番号を記入し提出（郵送可）

申込締切日 6月17日（月）必着
申し込み・問い合わせ先 高齢福祉課介護保険係
〒912-8666大野市天神町1-1
（☎66・1111内線481）

が支給されます。

対象者 平成12年7月7日以後の公務傷病により次の各項目に該当する人 昭和16年12月8日以降死亡した人の遺族 重度障害の状態にある戦傷病者 平成13年3月31日重以前に死亡した戦傷病者の遺族
支給内容 右記の または
に該当する人は弔慰金260万円 に該当する人は見舞金など400万円
請求期限 平成16年3月31日まで
その他 恩給法や戦傷病者戦

第23回ぱれっと会展

ぱれっと会

日時 6月14日（金）～15日（土）午前9時～午後8時 6月16日（日）午前9時～午後5時
会場 市産業文化展示館
問い合わせ先 九里剛哉さん（☎66・2743）

平成14年度県政広聴員			
小学校区	氏名	住所	電話
有終西	高田 ひとみ	泉町7-19	66・2890
有終南	小和田 克巳	下据43-1	65・7741
有終南	松原 恵子	春日3-14-9	66・3442
有終東	吉川 多希子	清和町208	65・2890
小山	玉木 郁夫	阿難祖地頭方38-45	65・4589
乾側	山本 嘉裕	牛ヶ原11-6	65・1828
下庄	三嶋 美智子	中挟1-15	65・2927
下庄	小池 崇博	中野1-3-31	65・0747
富田	林 郁恵	西勝原14-6	65・6836
蕨生	森下 弘宣	蕨生149-1	66・5561
森目	松田 典子	森目40-17	65・3437
阪谷・六呂師	野口 秀子	伏石23-30	67・1328
上庄	広瀬 盛仁	佐開11-12	64・1845

**ご意見・提案は
県政広聴員まで**
県民対話室

県では、小学校単位ごとに左の表のとおり県政広聴員を委嘱しています。
県政に対する身近なご意見・ご提案など、何でも結構です。お近くの広聴員までお寄せください。
問い合わせ先 県広報広聴課 県民対話室(☎0776・20・0221)

世界の料理教室
勤労青少年ホーム

日時 中国料理 6月23日(日)
タイ料理(予定) 7月7日(日)
いずれも午前10時～
場所 勤労青少年ホーム
対象 15歳～35歳までの勤労青少年(中学・高校生不可)
定員 各15人(複数受講可)
受講料 1回1000円程度
準備物 エプロン・タオルなど
その他 定員に空きがある場合

合、対象を拡大して締切日以降に受け付けます。
申込締切日 6月14日(金)
申し込み・問い合わせ先 勤労青少年ホーム(☎65・7221)

水泳教室
B & G 海洋センター

初級児童水泳教室
日時 6月30日(日)～9月1日(日)までの毎週日曜日 午前9時30分～11時30分
対象 泳げない小学生
定員 30人(先着)

中級児童水泳教室
日時 7月3日(水)～8月28日(水)までの毎週水曜日および9月1日(日) 午後7時30分～9時
対象 少し泳げる小学生
定員 20人(先着)
参加料 450円(保険料)
申込期間 6月8日(土)～6月26日(水)
申し込み・問い合わせ先 B & G 海洋センター(☎64・1311)

会長杯少年野球大会
市軟式野球連盟
日時 6月8日(土)・9日(日) 午前8時～
会場 奥越ふれあい公園

参加料 1チーム8000円
参加資格 平成14年度県野球連盟登録チーム
その他 6月3日(日)午後7時30分からエキサイト広場で代表者会議を行います。
申込締切日 6月3日(日)
申し込み・問い合わせ先 市軟式野球連盟事務局 米沢秀夫さん(☎65・7454)

市総体夏季大会
市体育協会

第45回市民総合体育大会夏季大会が始まりました。代表選手に声援を送りください。
ゲートボール 6月9日(日) 午前8時 市営ゲートボール場
相撲 6月9日(日) 午前9時

エキサイト広場
ソフトボール 6月9日(日) 午前8時30分 市民グラウンド
卓球 6月9日(日) 午前8時30分 陽明中学校
バウンドテニス 6月9日(日) 午前9時 小山小学校
バレーボール 6月9日(日) 午前8時30分 エキサイト広場

バドミントン 6月9日(日) 午前8時30分 有終西小学校
マレットゴルフ 6月9日(日) 午前10時 真名川憩いの島
陸上 6月23日(日) 午前9時 奥越ふれあい公園
エスキーツニス 6月30日(日) 午前9時 青少年教育センター

みんなでスポーツ

遊びやゲームを通して、スポーツの楽しさを体験する「みんなでスポーツ」。毎週土曜日の午前中、さわやかな汗を流しませんか。

- バレーボール 6月1日(土)・7月6日(土) エキサイト広場
 - ソフトテニス 6月15日(土)・7月13日(土) 明治公園
 - 武道 6月22日(土)・7月20日(土) エキサイト広場
 - ソフトボール 6月29日(土)・7月27日(土) 市民グラウンド
- 対象 市内の小学生とその保護者
参加料 1000円(保険料含む)
申込方法 所定用紙に記入の上、参加料を添えて申し込み・問い合わせ先 スポーツ課(☎66・1111 内線531)

市民のうごき

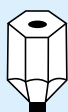
	5月1日現在	前月比
世帯数	11,834世帯	+19世帯
人口	40,215人	-35人
内訳	男	-10人
	女	-25人
4月中の異動	転入	出生 19人
	転出	死亡 29人

市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成14年 4月末	平成13年 4月末	比較
総件数	223件	272件	-49件
人身事故	件数	52件	+6件
	死者	0人	+3人
物損事故	死者	72人	-4人
	傷者	165件	-55件

大野ええとこ

今回は平家平のブナ林を紹介します。源平合戦に敗れた平家の落人がかつて集落を築いたと伝わる平家平は標高約六二〇〜一二四〇メートルで面積は約一九六畝。樹齢四十年から百年程度のブナの木が約一万本も密生するなど広葉樹を中心とした天然林が広がっています。



編集後記

大気汚染や地球温暖化などの世界的な環境問題。これまで何か遠いことのように感じていました。でも今回の取材を通し、環境を守るには自分ができることを実践していくことが大切なんだと思うようになりました。私も微力ながらまずできることから。(養)



木本の加藤友美さん(二十四歳)の宝は、野鳥などの自然観察に使う双眼鏡です。五年前に自然保護関係の専門学校に入学したとき、両親に買ってもらったものだそうです。

長さは約十センチ、重さは約三百グラムと双眼鏡の中では小型サイズ。上着のポケットに入るくらい大きさです。しかし倍率は約八倍もあり、五十メートル先のもので、すぐ目の前にあるように見えます。加藤さんの仕事は、野生生物などの生息調査です。山の中にどのような動物

物がいるのか、またどのくらい生息しているのかを調べているそうです。「生態調査は、何週間もかけて行います。場所によっては、車で行けない所もあるため、荷物を背負って急な山道を登ったり、やぶの中を移動したりすることがありますね。そんなときコンパクトなこの双眼鏡は、とても便利なんですよ」

90 自然観察に使う双眼鏡

加藤 友美さん(木本)

小さなころから、自然が好きだったという加藤さん。高校生のころから、自然保護に関係する職場で働きたいと思っていたそうで、自然の保護につながる今の仕事にとてもやりがいを感じているそうです。「いろんな動物の観察をしてきましたが、野鳥の観察をしているときに一番楽しいですね。仕事以外でもよく一



人で、山へ野鳥を探しに出かけますよ。また野鳥に出会うチャンスは、山ばかりでなく平地や市街地など、いたる所にあります。だからどこへ行くにも、必ずこの双眼鏡を持ち歩くようにしていますね。今では手に持っていないと落ちつかないくらいですよ」と笑って話してくれました。



買い物からの帰り道、お城を眺めながら車を運転していると、一台のトラックが休憩をとっているのか片側に車を寄せ

せ止まっていた。運転手は缶コーヒを飲んでいたが、飲み終えると窓を開け空き缶をポイツと捨てるではないか。思わず「えっ」と声が出た。他の車から見られているにもかかわらず堂々とポイツ捨てるとは、あざれた行為である。あの運転手はいつでもどこでもごみを平気で捨てるのである。子どもには見せられない光景である。一人ひとりごみをごみ箱へ捨てることを心がければ、道路や空き地、河川などはきれいなままだろう。あなたは一緒に良心まで捨てていませんか？ マナーを守りましょう。とテレビで流れているのが本当にそのとおりである。先日、古紙類の収集日に雑誌類を出しに行くと、きちんと十字に縛られているもの、結び目がゆるく今にもほだけそうなもの、広告のチラシなどを縛らずにビニール袋に入れ出されているもの、新聞紙をそのままダンボール箱に入れて出しているものときまざままであった。ごみの分別方法や出し方を把握していないのだろうか。こんな光景を見ると大声で「マナーを守れ」と叫びたくなる。自分一人くらい良いだろう、だれかがしてくれるだろうという思いなのだ。確かにごみの分別は面倒ではあるが、このままでは環境は悪化するばかりである。次の世代のため、きれいな地球にしたいと思う。(小)